

加賀郷土かるた 読み札一覧

No.	読み札
1	山代(ヤマシロ)は 出湯(イユ)に焼物(ヤキノ) 明覚碑(ミョウカヒ)
2	つぎつぎに 横穴(ヨアナ)ならぶ 法皇山(ホウオウサン)
3	ロシアとの 危機(キキ)を救(スク)った 北ヶ市(キカヅチ)
4	黒瀬(クロセ)には 布目瓦(ヌメカワ)の 窯(カマ)のあと
5	二子塚(フタコヅカ) きれいな前方(センホウ) 後円墳(コウエンブン)
6	長二郎(チョウジロウ)の 帆影(ホカゲ)はむなし 尼御前(アマゴゼン)
7	手も切れる 深田(フカダ)の水は 鏡(カミ)の池
8	わかめ舟 磯(イ)の香りも 加佐岬(カササキ)
9	北前(キタマエ)の 行くては大阪 北海道
10	類(ルイ)のない 加賀絹(カガヌ)のもと 庄(ショウ)の町
11	八日市(ヨウカチ) 都(ミヤコ)もどりの 地蔵(ジゾウ)さん
12	猫橋(ネコハシ)の 遺跡(イセキ)に残る 弥生土器(ヤヨイトキ)
13	みの虫の 理与門(リヨモン)の墓(ハカ) 分校町(ブンギョウマチ)
14	日は暮(ク)れて ふめば危(アヤウ)き いぶりはし
15	一向宗(イツコウシュウ) 頭(カシラ)は山田の 光闍坊(コウセンボウ)
16	菅波(スガナミ)の 天日茶屋(テンニチチャヤ)の 小豆(アスキ)もち
17	弓波(ユミナミ)の 廃寺(ハイジ)は古い 白鳳期(ハクホウキ)
18	小四郎(コシロウ)の 筆(フデ)あと今に 小塩辻(オシオツジ)
19	松風(マツカゼ)や 実盛塚(サネモリヅカ)の 蟬時雨(セミンクレ)
20	絵(ゑ)のような 湖面(コメン)に白山(ハクサン) 片山津(カタヤマヅ)
21	宇吉郎(ウキチロウ) 世界(セカイ)のトップ 雪博士(ユキハカセ)
22	突然(トツゼン)の 変異(ヘンイ)は篠原(シハラ) 金明竹(キンメイチク)
23	珍(メスラ)しい 管玉工房(クダタマコウボウ) 玉作(タマヅクリ)
24	かん山(サン)の 鏡(カミ)は後漢(ゴカン)の 船載鏡(フナサイキョウ)
25	溪流(ケイリュウ)に 優美(ユウビ)な姿(カタ) 鶴ヶ滝(ツルカダキ)
26	信連(ノブツラ)や 芭蕉(ハシヨウ)もほめた 山中湯(ヤマナカユ)
27	大杉(オオスキ)が 見守(ミマモ)る加賀の 二千年
28	森と川 四季(シキ)が織(オリ)り成(ナ)す こおろぎ橋
29	染付(シメツケ)に 九谷赤絵(クニアカエ)の 伝統美(デントウビ)
30	僻地(ヘキチ)でも ろくろの始め 口真砂(クチマナゴ)
31	宝永(ホウエイ)の たくみの業(ワザ)の 長流亭(チョウリュウテイ)
32	関(セキ)が原(ハラ) 一足(ヒトアシ)さきに 玄蕃(ケンパ)散(チ)る
33	渚(ナギサ)の散歩(サンポ) 長者屋敷(チョウジヤシキ)を 一めぐり
34	歴代(レキダイ)の 藩主(ハンシュ)の墓(ハカ)は 実性院(ジツショウイン)
35	日本の 儒学(ジュガク)の大家(ダイカ) 錦城(キンジョウ)さん
36	あたたかい 太古(タイコ)の自然 鹿島(カシマ)の森
37	ぬかづくや 五百羅漢(ゴヒヤクワン)と 芭蕉(ハシヨウ)の寺
38	竜骨車(リュウコツシャ) はじめて試(メ)す 三木(ミキ)の里(サト)
39	無理(ムリ)をして 十万石(ジュウマンゴク)の 高直(タカナオ)し
40	江戸(エド)に出て ハリスの脈(ミヤク)とる 玄同(ケンドウ)さん
41	竹を割(ワ)り 大蛇退治(オホタイジ)の 菅生(スガウ)の宮(ミヤ)
42	白山(ハクサン)の 五院(ゴイン)の一つ 大聖寺(ダイショウジ)
43	蘭学(ランガク)を 長崎(ナガサキ)に学ぶ 卯三郎(ウサブロウ)
44	しゃしゃむしゃの 仏(ホトケ)の踊(オド)り 塩屋浜(シオヤハマ)
45	井齊(ゐサイ)らと 小塚(コヅカ)の植えた 防風林(ホウフウリン)
46	京都への 近道(キンミチ)つくる 湖上汽船(コジョウキセン)
47	竹槍(タケヤリ)で せまるは正徳(ショウトク) 大一揆(ダイイク)
48	坂網(サカミ)の 手なれたさばき かも池

参考情報

※読み札の一部の情報のみを参考資料として載せています。

※記載情報は正確性を期しておりますが、歴史については諸説あるものもございます。参考情報としてご覧下さい。

かるたNo.1

「山代は 出湯に焼物 明覚碑」

山代にある薬王院温泉寺の初代住職、明覚を供養する国指定重要文化財。悉曇学(したんがく)の研究でも有名な明覚は、日本の50音図配列(あいうえお)を考えた人とされています。

関係URL

<https://www.hot-ishikawa.jp/>

(公益社団法人石川県観光連盟ほっと石川旅ネットHPより)

(トップページ⇒加賀エリアスポット一覧⇒薬王院温泉寺のページへ)

かるたNo. 2

「つぎつぎに 横穴ならぶ 法皇山」

勅使町にある法皇山。北陸地方の最大級の横穴古墳として知られているが、その洞窟の数は確認されているだけで77個以上あり、

平安時代の花山天皇(かざんてんのう)のお墓としてたくさんの土器が発見されています。

関係URL

http://tabimati.net/midokoro/detail_kanko.php?p=1217

(加賀市観光情報センターKAGA旅・まちネットHP より)

かるたNo.7

「手も切れる 深田の水は 鏡の池」

加賀市深田町にある「鏡の池」には、篠原古戦場で命を落とした斎藤実盛が白髪を染めるために使ったとされる古鏡がおさめられています。

年に一度、秋祭りの前に池洗いが行われ、この時に古鏡を見ることが出来ます。

関係URL

<http://tabimati.blog79.fc2.com/blog-entry-542.html>

(加賀市観光情報センターKAGA旅・まちネットHP より)

かるたNo.9

「北前の 行くては大阪 北海道」

江戸時代から明治時代まで、大阪と北海道を結ぶ日本海側の海を往復して荷物を運んでいた北前船

当時は船の技術も天気予報も今より発達しておらず、嵐に合えば命を落としてしまう人もいて常に危険と隣り合わせだったようです。

関係URL

<http://www.city.kaga.ishikawa.jp/kitamae/>

(北前船の里資料館HPより)

かるたNo.12

「猫橋の 遺跡に残る 弥生土器」

加賀市八日市町と合河町にまたがる地域から1955年に発見された遺跡を「猫橋遺跡」といい、

1800年前の”しゃもじ”、”くわ”、などが発見されていて稲作の始まりを知るための貴重な遺跡として全国的に知られています。

関係URL

<https://enumatihousi2.jimdofree.com/加賀市の歴史/古代/>

(江沼地方史研究会HPより)

かるたNo.15

「一向宗 頭は山田の 光闍坊」

加賀の一向一揆とは、1488年に加賀の守護大名『富樫政親』が浄土真宗を弾圧したため、約20万人もの浄土真宗の人が立ち上がり起こした一揆のことです。

加賀の一向一揆での勝利をきっかけに、以後100年間にわたって、加賀は浄土真宗門徒が支配する国となりました。

関係URL

<https://nihonsi-jiten.com/kaga-ikkouikki/>

(日本史辞典.comより)

かるたNo.21 「宇吉郎 世界のトップ 雪博士」

1900年、石川県加賀市片山津生まれ。北海道大学の教授となり雪の研究をして、人工雪を作ることに世界で初めて成功した人です。

科学研究のほか、随筆、絵画、科学映画などでも優れた作品をつくり、「雪は天から送られた手紙である」という有名な言葉も残しています。

関係URL <https://yukinokagakukan.kagashi-ss.com/ukichiro/> (中谷宇吉郎 雪の科学館HPより)

かるたNo.22 「突然の 変異は篠原 金明竹」

加賀市篠原町で古くから珍しい竹として大切にされてきた黄金色の竹。ふしめには交互に緑色の模様があり、篠原のものは国指定天然記念物に指定されています。

関係URL <http://www.shinkin.co.jp/tsurugi/huru150/hu15120/hu15120.html> (鶴来信用金庫HPより)

かるたNo.25 「溪流に 優美な姿 鶴ヶ滝」

鶴ヶ滝は、大小5段の滝で、一番奥の最大のもは二つの滝に分かれており、高さ五段合わせて30mほどあるとされています。

しぶきをあげる二つの滝の姿は、鶴の足のようであることから滝の名前の由来もここからきているとされています。

関係URL http://tabimati.net/midokoro/detail_kanko.php?p=3987 (加賀市観光情報センターKAGA旅・まちネットHPより)

かるたNo.27 「大杉が 見守る加賀の 二千年」

山中温泉の菅原神社境内にある栢野(かやの)大杉。国の天然記念物にも指定されており、その木の年齢は約2300年とも言われています。

関係URL http://www.tabimati.net/midokoro/detail_kanko.php?p=3984 (加賀市観光情報センターKAGA旅・まちネットHPより)

かるたNo.37 「ぬかづくや 五百羅漢と 芭蕉の寺」

全昌寺に収められている様々な色の羅漢像500体。江戸時代末期の大聖寺領内における有力な武士や町人を伝える貴重な資料です。

元禄2年(1689)8月、奥の細道の無事の折り、芭蕉と曾良がわらじを脱いで一泊したとされる部屋が復元されており、境内には俳句を彫った石も残っています。

関係URL <https://www.hot-ishikawa.jp/> (公益社団法人石川県観光連盟ほっと石川旅ネットHPより)
(トップページ⇒加賀エリアスポット一覧⇒五百羅漢・芭蕉旧跡熊谷山 全昌寺)

かるたNo.38 「竜骨車 はじめて試す 三木の里」

低い川の水を、高い土地の田んぼに水を汲み上げる水車の役割をする農機具として、今から350年以上前の大聖寺藩三木町に導入されました。

竜の骨の車と書いて竜骨車と呼ぶ通り、その形が竜の骨格と似ていることから名づけられました。

関係URL <https://kotobank.jp/word/竜骨車-149616> ((株)朝日新聞社コトバンクより)